

MITSUBISHI

三菱IHクッキングヒータ据付工事説明書

ビルトインタイプ(単相3線式200V)

販売店・工事店さま用
「設置基準適合」

形名 CS-B32B (家庭用)

この製品の性能を十分に発揮させ、また安全を確保するために正しい据付工事が必要です。
据付工事の前にこの説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

●据付工事の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ正しく据え付けてください。

●誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。
注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

- 据付工事完了後、試験運転を行い、異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそって、お客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この「安全のために必ずお守りください」は、取扱説明書とともにお客様に保管いただくように依頼してください。

警告

- 据付工事はお買い上げの販売店または専門業者に依頼すること。
ご自分で据付工事され、不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。
- 据付工事は、据付工事説明書に従い、確実にこなすこと。
据付工事に不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。
- 据付工事は、機器の重量に十分耐える所に確実にこなすこと。
耐重量不足や取付が不完全な場合、機器の落下や転倒により、けがの原因になります。
- 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」、及び据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用すること。また、電圧は製品の定格電圧に合わせること。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
- 据付工事部品は、必ず付属部品または、指定の部品を使用すること。
使用しないと、機器の落下や転倒、水漏れ、感電、火災の原因になります。
- アースを確実に取りつけること。アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないこと。
アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。
- 据付工事を行なうときは、ブレーカを“切”にして行うこと。
感電する原因になります。

注意

- 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への据付は行わないこと。
万一ガスが漏れて機器の周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。

工事される方へのお願い

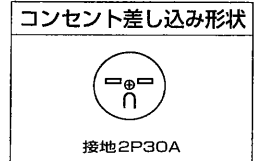
- この器具を正しく安全にご使用いただくために、指定された工事を行ってください。
- 工事完了後に、試運転を必ず行い、お客様へ正しい使いかたをご説明ください。
- この説明書は、必ずお客様にお渡しください。
- 梱包箱の内フラップに記入された付属品が同梱されていることをご確認ください。

1 製造開始の届出 (乙種電気用品)

■工事現場で工事店さまが取付ける時以外で、家具製造者等が製造活動として家具等に取付ける時は電気用品取締法の製造規制の対象となりますので、注意してください。乙種電気用品の届出が必要です。

2 電気工事および接地工事

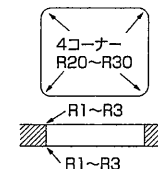
- 電源工事や接地工事は「電気設備技術基準」ならびに「内線規定」に準じてください。
 - 電源は30A専用回路（ブレーカ付）を設けてください。電源は必ず単相3線式200Vを使用してください。
3相電源の1相での使用はしないでください。故障の原因です。
万一のときの安全のために、漏電しゃ断器の設置をお願いいたします。
●推奨漏電しゃ断器：定格電流30A、感度電流30mA
 - 電源コンセント：埋込みコンセント…単相3線式定格250V30A（一極接地用）
●電源コンセント取付位置は、次頁の「システムキッチンとの関係寸法図」を参照してください。
●電源コードの直付は絶対にしないでください。
 - アース工事を必ず行ってください。（第3種接地工事）
●上記コンセントの一極接地用に配線してください。
〈ご注意〉アース線はガス管や水道管、電話線用のアース線には絶対に接続しないでください。
- 電気工事は、必ず電気工事士の免許をお持ちの方に行ってください。



3 人造大理石ワークトップへ取付け施工される際のお願い

■人造大理石ワークトップは、加工状態や、高温条件によっては、クラック（ひび）の入ることがあります。右記の要領で加工し施工してください。

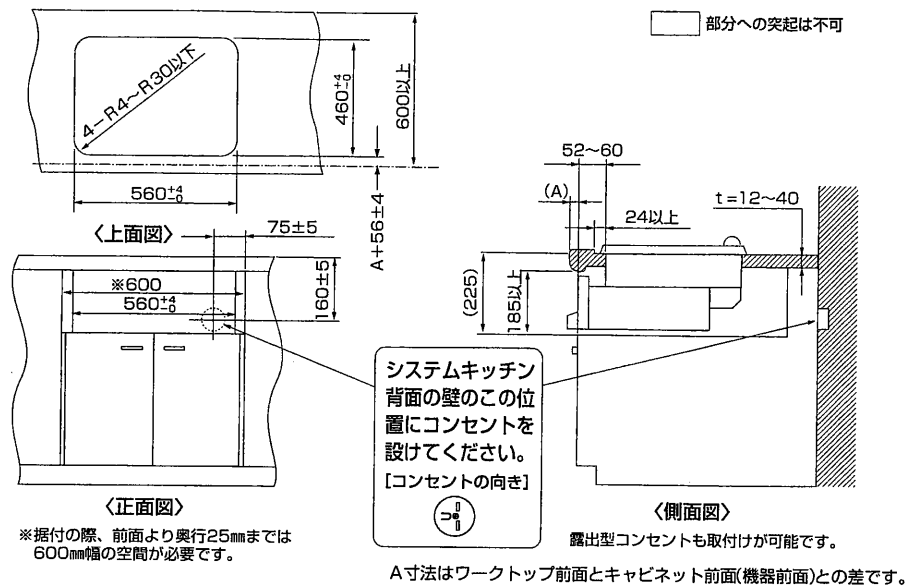
開口部の加工



- 4コーナーのRはR20～R30で加工してください。
- 切断面の上下エッジは、サンドペーパー等でエッジをR1～R3に落としてください。

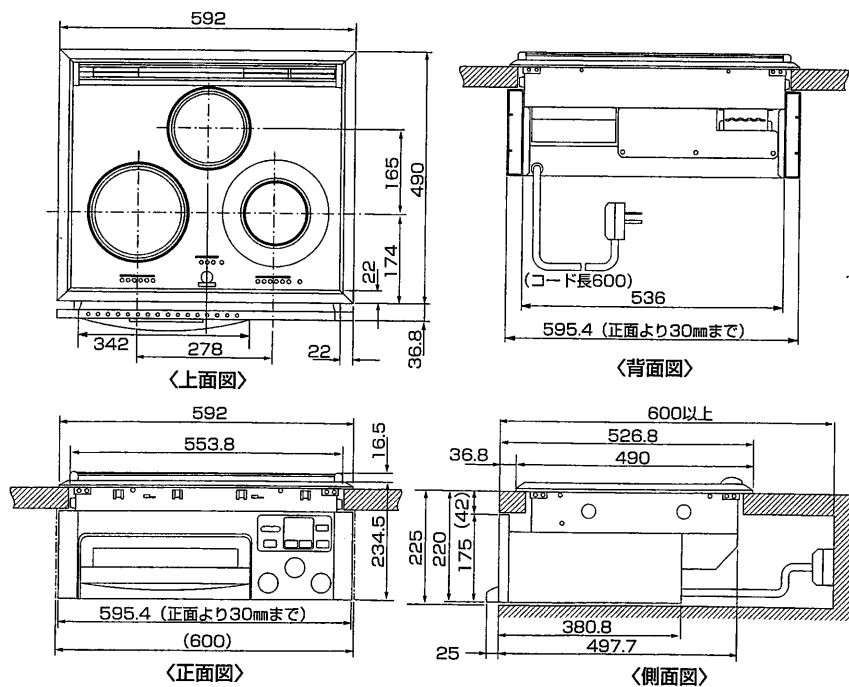
4 システムキッチンとの関係寸法図

単位：mm



5 製品外形寸法図

単位：mm



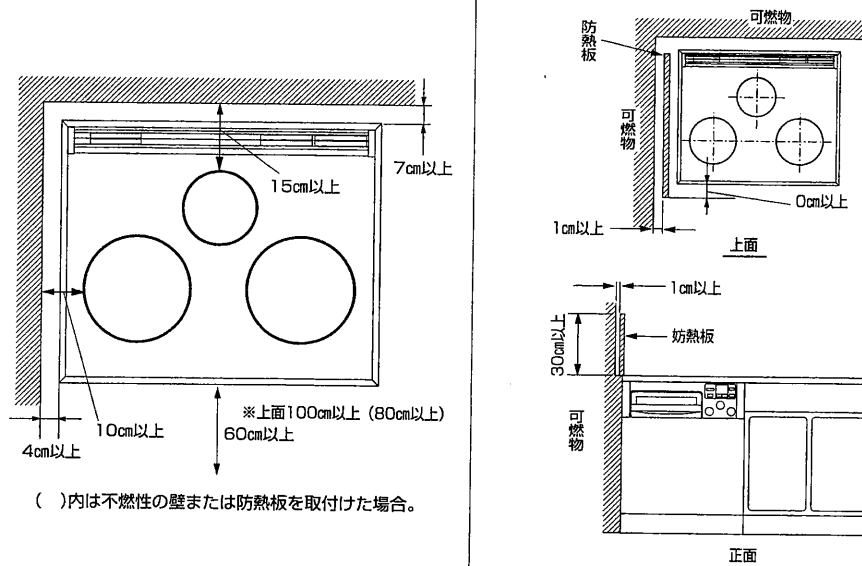
6 据付上の注意

■据付工事を始める前に確認してください。

- 器具の大きさに合った丈夫で水平な台の上に据付してください。
- 器具は火災予防上、可燃物（土壁・棚）との間を側面10cm以上、背面15cm以上、上面100cm以上離してください。また、器具の前面は60cm以上離してください。不燃壁の場合はその限りではありません。

〔設置基準適合〕

- 周囲に可燃性の壁・たな等がある場合や、可燃性の壁にステンレス板等を貼り付けてご使用の場合は、下図に準じてください。


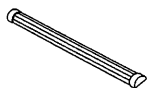
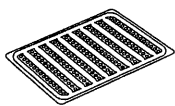



- 本体の一部が家屋の壁中のワイヤラスに接触したり、金属製の防熱板とステンレス製ワークトップが接触するおそれのある場合は、絶縁テープなどで電氣的に接触しないようにしてください。電気設備技術基準182条により義務づけられています。
 - 吸排気口をステンレスの水切りカバー（水返しカバー）などでふさがないでください。
 - 本体をタイルやモルタルで、塗り込まないようにしてください。点検やアフターサービスの妨げとなります。
 - 湿気の少ないところに据付てください。
 - 十分換気のできる場所に据付てください。
 - 器具のまわりや上部には、エアゾール缶、プラスチック、油、紙類など燃えやすいものは、置かないようにしてください。
 - ワークトップは、熱硬化樹脂化粧板（JIS-K-6903）または、これと同等以上の材料をお使いください。
 - ワークトップの表面が、ニス引きのものは、変色しますので、お使いにならないでください。
- 〈ご注意〉この機器を据付される台所が、建築基準法に定める【内装制限を受ける調理室】に該当する場合は、台所全体についても内装材の制限を受けます。
- 据付場所と周囲の可燃物、防火措置は、必ず火災予防条例に準じて施工してください。

7 据付する

据付前の準備

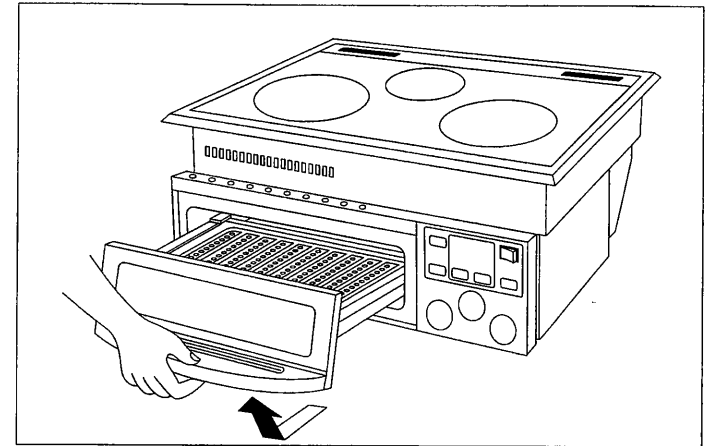
■包装材料を取り外し、付属品を確認する

サイドカバー	吸・排気カバー	こんがりプレート	天ぶらなべ(アミ付)
2個	1個	1枚	1個
			

- 取扱説明書があることを確認してください。
- 操作部の止めテープをはがし、こんがりプレートの包装材を取り除いてください。

■ロースター扉・受皿を取り外す

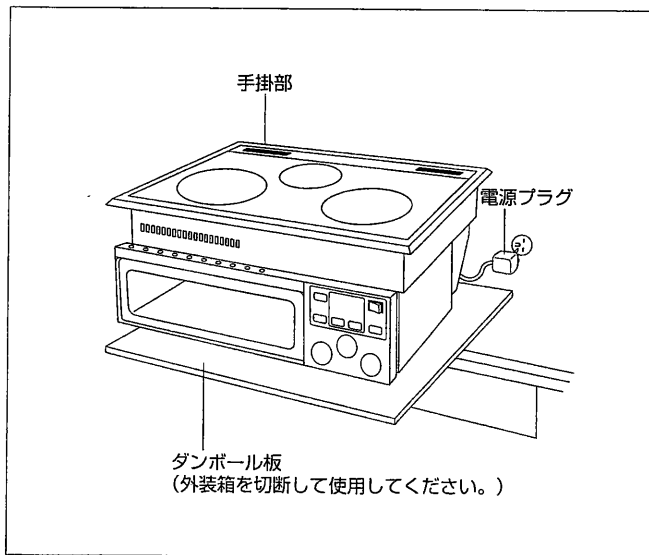
ロースター扉の取っ手を持って引き出し、そのまま斜め上に引き上げる。



本体の設置 (ブレーカを“切”にして工事を行ってください。)

1 電源プラグを差し込む

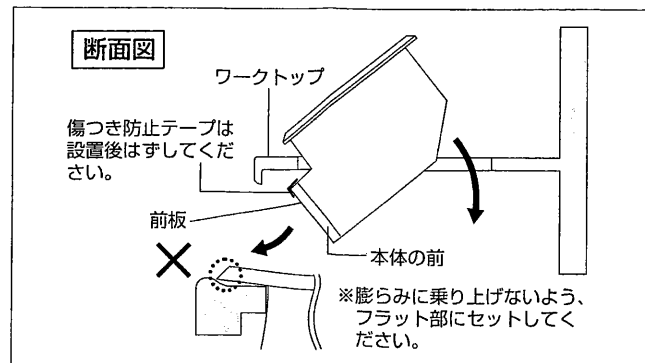
- ワークトップに傷を付けないように包装用のダンボール板を敷いてください。



5

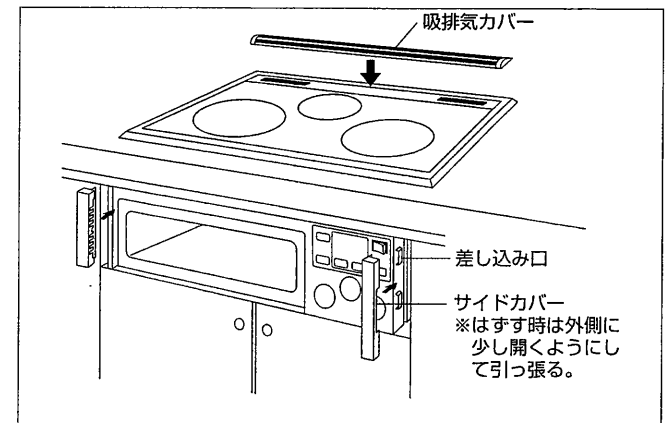
2 ワークトップに本体の両端をもって前面を挿入してから全体をはめ込む

- はめ込み時は、前面のスイッチや前板をワークトップに当てないでください。
(スイッチの破損や前板に傷がつく原因になります。)
- 前板とワークトップのすき間が、前後左右で均一であることを確認してください。
(本体挿入時に、電源コードが本体底面とキャビネットの間に挟まると、本体が浮いてすき間がバラつきます。)



3 サイドカバーを取り付け本体の位置を調整する

- ①前板側面の差し込み部に、サイドカバーを取付ける
- ②サイドカバーとキャビネットの左右側面とのすき間が均一になるように、本体の位置を調整する
- ③キャビネットの扉面に本体の前面が合うように、本体の位置を調整する
- ④吸排気カバーをのせる



6

8 据付工事後の確認

■据付終了後、次の手順で確認し、チェック欄に○印をしてください。

確認項目		チェック
付属品などの取付 包装材の取り外し	ロースター扉部パネル上部の止めテープの取りはずし。	
	吸・排気カバーの取り付け。	
	ロースター受皿、こんがりプレートの取り付け。	
	取扱説明書、据付工事説明書、天ぶらなべを包装箱から取り出し、お客様にお渡しする。	
電気工事	据付工事	
	漏電ブレーカーの設置	
	電源プラグの接続	
確認試験	①ブレーカーを“入”にする。 ②電源電圧が単相200Vであることを確認する。 ③電源スイッチを“入”にする。→電源ランプが点灯する。	
	④各ヒータの動作チェックをする。 ■右IHヒータのチェック ●操作パネルの右の丸いつまみを押す。つまみが手前になるので時計方向にまわす。 →トッププレート手前右側の火力表示ランプが点滅する。確認後はつまみを押して“切”の状態にしてください。 ※右ヒータはIHヒータですので、トッププレートの加熱部に鉄系の鍋が置かれている場合しか加熱されません。上記の火力表示の点滅は鍋が無く、通電されていない状態を示しており、正常です。もし鉄系の鍋がお手元にある場合は、水を入れて、つまみを回して通電を開始し（火力表示が点滅から点灯に変わります）水が加熱されるのを確認してください。 (付属の天ぶら鍋は絶対に使わないでください。水を入れると錆びます。)	
	■左ヒータのチェック ●操作パネルの左の丸いつまみを押す。つまみが手前になるので時計方向に回す。 →トッププレート手前左側の火力表示ランプが点灯する。約3秒後にトッププレートの左ヒータが赤くなる。ラジエントヒータが熱くなるので注意してください。 確認後はつまみを押して“切”の状態にしてください。	
	■中央ヒータのチェック ※上記ヒータと同じラジエントヒータです。同様に中央のつまみで操作して確認してください。(操作をするとトッププレート中央の火力表示ランプが点灯する。)	
	■ロースターのチェック ●操作パネルの中央の丸いつまみを押し、続けて操作パネルのロースター自動調理キーを押す。 →操作パネルのロースターメニュー表示ランプ（さんまの位置）が点灯する。約1分でロースターの庫内が熱くなる。 確認後はつまみを押して“切”の状態にしてください。	

据付年月日	年	月	日
据付施工店名			
TEL			



三菱電機株式会社
三菱電機ホーム機器株式会社
〒369-1295 埼玉県大里郡花園町小前田1728-1

お客様へ……おぼえのために、据付年月日、据付施工店名を記入されると便利です。